

【NEWS RELEASE】

2022年3月2日

SMBC日興証券株式会社

三菱地所物流リート投資法人のグリーンエクイティ・オフリング実施のお知らせ

SMBC日興証券株式会社は、この度、三菱地所物流リート投資法人(執行役員:高梨 憲、本社所在地:東京都千代田区、証券コード:3481、以下「本投資法人」)がグリーンエクイティ・オフリングとして実施した公募増資の引受けにおいて、グリーンエクイティ・ストラクチャリング・エージェント及びジョイント・グローバル・コーディネーターを務めましたのでお知らせいたします。

三菱地所グループは、長期経営計画2030に「三菱地所グループのSustainable Development Goals 2030」を掲げ、具体的なテーマとアクションを定めるマイルストーンに位置付けています。本投資法人及び三菱地所投資顧問株式会社(以下「本資産運用会社」)としても環境への配慮・社会貢献・ガバナンスの強化といった、社会の持続可能性(サステナビリティ)向上に取り組んでいくことが、上場投資法人として期待されている社会的責務であり、投資主価値の最大化を図る上でも不可欠であると考えています。このような考えを実践するため、本投資法人は本資産運用会社とサステナビリティに対する考え方を共有し、共に取り組みを推進しており、環境負荷に配慮したエネルギー効率のよい施設への投資に努めるとともに、地域社会への貢献活動等、様々な取り組みを積極的に行っています。

上記の取り組みを一層推進すべく、本投資法人は、今般、グリーンエクイティ・フレームワーク(以下「本グリーンエクイティ・フレームワーク」)を制定し、それに則って今回のグリーンエクイティ・オフリングを実施しました。本グリーンエクイティ・フレームワークは、「グリーンボンド原則(Green Bond Principles)2021年版^{*1}」(以下「グリーンボンド原則」)に定める4つの核となる要素(1. 調達資金の使途、2. プロジェクトの評価及び選定のプロセス、3. 調達資金の管理、4. レポーティング)並びに環境省の「グリーンボンドガイドライン2020年版」を参照して制定されています。また、本投資法人は、本グリーンエクイティ・フレームワークの制定にあたり、DNVビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社^{*2}より、本グリーンエクイティ・フレームワークが、グリーンボンド原則等で定められる4要素の主要な要件に適合している旨のセカンド・パーティ・オピニオンを取得しています。

本投資法人は、グリーンエクイティ・オフリングの実施を含むグリーンファイナンスによる資金調達を活用して資金調達手段の多様化を進めるとともに、環境負荷に配慮したエネルギー効率のよい施設の取得を推進し、社会の持続可能性に貢献します。

いっしょに、明日のこと。
Share the Future

当社では、金融・資本市場におけるビジネスを通じた環境・社会課題の解決のため、専門部署である「サステナブル・ファイナンス部」を設置し、ESG の推進に積極的に取り組んでおります。この度の引受けは、当社におけるサステナブルファイナンスに係る知見を示すと同時に、日本における ESG 投資、ESG をテーマとした商品の更なる拡大に繋がるものと考えております。また、本グリーンエクイティ・オフリングの引受けを通じて、当社はSDGsの掲げる「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」及び「気候変動に具体的な対策を」の目標達成に貢献していきます。



- ※1 「グリーンボンド原則」とは、国際資本市場協会 (ICMA) が事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド・ソーシャルボンド原則執行委員会 (Green Bond Principles and Social Bond Principles Executive Committee) により策定されている、グリーンボンドの発行に係るガイドライン。
- ※2 「DNV」は、1864年に設立されたノルウェー王国の首都オスロに本部を置く ESG 評価における第三者評価機関である DNV の日本法人。環境省のグリーンボンド発行支援者登録者 (外部レビュー部門) や、低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際 NGO である気候債券イニシアチブより認定を受けた検証者としてグローバルに活動し、国内外で多くの検証報告書やセカンド・パーティ・オピニオン提供実績を有する組織。

以上